

**平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業状況報告書(各年度報告書)**  
(平成27年度報告書)

(事業計画書作成担当者)

都道府県等の名称	富山県		
所在地	〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7		
事業計画作成担当者			担当部局
			生活環境文化部環境政策課
	TEL	FAX	
	076-444-8727	076-444-3480	

(基金事業の執行実績及び計画)

(単位:円)

再生可能エネルギー等導入推進事業	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計	基金総額	執行率
① 地域資源活用詳細調査事業				0	/	
② 公共施設再生可能エネルギー等導入事業	3,069,000	225,368,480	637,486,000	865,923,480		
③ 民間施設再生可能エネルギー等導入推進事業				0		
④ 風力・地熱発電事業等導入支援事業				0		
合計	3,069,000	225,368,480	637,486,000	865,923,480	870,000,000	26%
運用益収入額	60,821	36,941	1,061,088	1,158,850		

※報告書を提出する当該年度までは執行済額、以降は執行見込額を記載する。

※当該年度の合計は、基金運用実績における支出済額を記載する。

※「運用益収入額」は、基金運用実績における「運用益繰入額」を記載する。

※執行率は、基金総額に対する執行済額の割合を記載する。(合計-運用益収入額)÷交付額

平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業状況報告書(各年度報告書)
(平成27年度報告書)

(事業実施の概要)

平成27年度事業実施の概要

○基金事業計画

・目的・概要
防災拠点となる公共施設の災害時の機能確保や低炭素に資するだけでなく、公共施設を核とした、再生可能エネルギーによる地域全体の減炭化・低炭素化を促進するもの

・事業の実施及び評価体制
本基金事業の実施にあたっては、事業の効率性及び透明性を確保するため、次図の役割分担のもとに、PDCAサイクルによる進行管理を行う。(24年度基金事業で定めた役割分担に、新たに県のエネルギー担当課からも助言を得ることとし、事業の選定～設計～工事の各段階で防災、予算、工事設計、エネルギーの各担当課の意見・評価を聴く体制とする。)また、県の各専門部署から意見を聴く体制に加えて、外部の専門的知識を有する者で構成する「検討委員会」(平成24年度設置)により、個々の工事計画や成果指標の達成状況の評価を行う。会議は年1～2回の頻度で開催する。

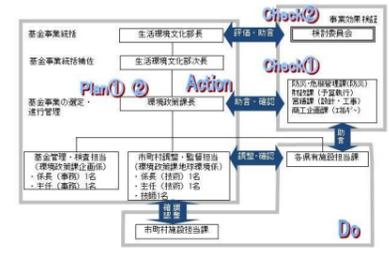


Table with 3 columns: Name, Affiliation/Title, and Specialized Field. Includes names like 石田 敏彦, 野田 太平, 堀 武司, 松浦 辰夫, 宮下 尚.

<PDCAサイクルの流れ>
Plan①: 県環境政策課において、県有施設担当課及び市町村の事業要望の内容(導入する再生可能エネルギー等の内容、必要性、実現可能性)、事業費、費用対効果等を審査の上、事業を選定し、事業計画をとりまとめ
Check①: 防災、予算執行、設計・工事、エネルギーの各担当課が、事業計画を確認、環境政策課に指導助言を実施
Plan②: Check①による意見・評価の結果、必要に応じて、県環境政策課から県有施設担当課又は市町村に事業要望の修正を求め、事業計画を見直し
Do: 県有施設担当課及び市町村において、各事業を実施(県環境政策課は進捗を管理)
Check②: 外部有識者による検討委員会において、事業の進捗状況、成果指標の達成状況の評価
Action: Check②の評価の結果、必要に応じて、県環境政策課から県有施設担当課又は市町村に事業計画の修正を指示

・27年度実施事業概要
本事業においては、限られた予算で最大限に事業効果を上げるため、優先順位や緊急性を考慮して、本基金の4つの事業メニューのうち、②公共施設再生可能エネルギー等導入事業に集中的に取り組むこととしている。27年度は、県有施設では5施設、市町有施設では10施設において、再生可能エネルギーによる発電設備及び蓄電池等の導入を実施した。また、26年度繰越事業として、県有施設では1施設、市町有施設では11施設において再生可能エネルギーによる発電設備及び蓄電池等の導入を実施した。しかし、設計に時間を要するなどして、県有施設2施設、市町有施設3施設において事業を繰り越した。

平成27年度事業効果

Main data table with columns for Project, Fiscal Year (26, 27, 28), Plan, Actual, and Achievement Rate. Rows include renewable energy generation, disaster site penetration, and CO2 reduction.

※状況報告書を提出する年度以外の年度は、実績値又は計画値を記載する。

<当該計画に対する実績の要因分析>

※計画に比べ、実績値が低い場合は、その要因について記載して下さい。(実績値が高い場合も同様。)

- 事業計画の見直しにより、導入した再生可能エネルギー等による発電量、二酸化炭素削減効果は増加する見込みである。
○事業計画の見直しにより、導入施設数が減少したため、防災拠点における再生可能エネルギーの普及率は減少する見込みである。

平成27年度自治体独自の事業効果

※全体計画書で独自に設定した成果指標について、当該年度の導入計画に基づく実績を記載して下さい。

- 蓄電池は、電力需給ひっ迫時や再生可能エネルギーによる発電が行われない夜間等に使用することで、購買電力を削減できることから、蓄電池を積極的に導入し、平常時にも有効活用する必要がある。
○本基金事業を効率的に実施するためには、適正な設計・契約等により事業費の縮減とCO2削減効果の向上を図ることが重要であることから、CO2削減量当たりの事業費を指標に、事業の進捗を管理していく必要がある。
そこで、本県独自の事業効果として次のとおり設定し、その実績は次のとおりである。

Table showing autonomous project results for battery capacity and CO2 reduction per unit cost across fiscal years 26, 27, and 28.

平成27年度外部委員会の評価内容

※外部委員会における議事内容(主な意見等)を要約して記述してください。併せて、外部委員会の議事録を別途提出して下さい。

- 平成27年度富山県再生可能エネルギー等導入推進基金事業検討委員会開催概要
1 日 時 平成28年3月30日(水) 10時～11時
2 場 所 企業局5号会議室
3 出席者 宮下委員長、野田委員、堀委員、松浦委員
4 議 事
(1)再生可能エネルギー等導入推進基金事業(グリーンニューデール基金)について
(2)平成27年度における事業の進捗状況について
(3)平成28年度における事業の計画について
(4)成果指標の進捗状況について
5 主な意見…別紙のとおり

